

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 教育職 公募
「募集要項」

1.	役職	准教授
2.	人数	1名
3.	配属予定部署	宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系
4.	就業場所	JAXA 相模原キャンパス（神奈川県相模原市中央区由野台 3-1-1） ＜ 変更の範囲: 人事異動、組織改編等により業務の実施場所が変わる場合に機構が定める場所、機構規則に基づきテレワークを行う場合はその場所 ＞
5.	採用予定日	2026年9月1日以降なるべく早い時期
6.	契約期間	期間の定めなし
7.	試用期間	採用された日から6月間
8.	職務内容	アストロダイナミクス、軌道誘導航法技術を中心とした探査システムに係る工学分野の学術研究
9.	職務内容（詳細）及び求める人物像	<p>JAXA 宇宙科学研究所では、小天体・重力天体を含めた太陽系探査を積極的に推進しています。その中には、はやぶさ2や MMX の次を担う太陽系探査に関する議論や、国際宇宙探査の発展を念頭に、月から火星への探査シナリオとそれに基づくミッション創出の議論が含まれます。このような背景のもと、今後の太陽系探査において我が国が国際的に高い貢献を果たすことを目指し、宇宙飛翔学研究系では将来の探査計画にブレークスルーを与える技術の研究に取り組んでいます。特に、はやぶさ・あかつき・はやぶさ2で獲得された深宇宙航行および天体周回・近接運用技術は、深宇宙軌道間輸送システムの共用化・低コスト化・高頻度化を実現するキー技術として応用検討が進んでいますし、はやぶさ2・SLIM・MMX 等で獲得された、ないし計画されている地球外の天体地表面アクセスの更なる自在性向上や、複数探査機の分散協調動作を含む探査方式の実現は、探査に質的な変化をもたらすと期待されています。これらの達成には、天体まわりの力学場を加味した運動解析や軌道設計、複数宇宙機の自在な近接飛行技術（ランデブー・ドッキング含む）の深化が必要とされ、また、実際の探査構想の立案や探査システム検討・開発においても、アストロダイナミクスや軌道誘導航法に関する学識が必須となります。</p> <p>このような認識のもと、宇宙科学研究所では、次世代小天体サンプルリターン探査構想や、国際宇宙探査の枠組みを発展させた火星着陸探査計画、さらにはそれらを効率的に実現する共用性の高い深宇</p>

		<p>宙軌道間輸送機の検討を押し進めてきました。これらの既存検討を推進し、その先の構想を描き計画を実現していく上で、アストロダイナミクスおよび軌道誘導航法の研究に取り組むと共に、その専門知識に基づいて探査システムを検討することが求められています。</p> <p>業務内容は以下の通りです。</p> <p>(1) 将来の宇宙科学ミッションに貢献するアストロダイナミクスおよび軌道設計・誘導・航法技術に関する自由な発想による研究を推進すること、</p> <p>および、</p> <p>(2) 複数の宇宙科学探査計画において、アストロダイナミクスおよび探査システム工学の立場からプロジェクトチームを強力的に主導すること</p> <p>さらに当研究所の大学共同利用の役割を理解し大学等の研究者と協調して宇宙科学プロジェクトを中心とする学術研究を遂行するとともに、専門研究能力を生かして JAXA 内の研究開発やプロジェクトなどの各種活動に積極的に参加し、将来の宇宙開発・宇宙利用に資する人材育成に貢献できる意欲あふれる人材を求めます。また関連企業などと連携し産学共同研究も推進することのできる人材を前提とします。</p> <p>このような業務に鑑み、今回募集する准教授(教育職)は、少なくとも次の条件を満たすものとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 太陽系探査に係るアストロダイナミクス分野において研究および実務の経験を持ち、国内外で評価された実績を有すること。 ● 将来の宇宙科学プロジェクトもしくは国際宇宙探査プロジェクトへの適用を前提として、アストロダイナミクスや軌道誘導航法に関する研究を遂行するとともに、当該分野や探査機システム設計でリーダーシップを取っていく能力および意欲を有すること。 ● 探査機システム開発への参画を含めて、宇宙科学プロジェクト遂行に必要な活動に、積極的に貢献する姿勢および能力を有すること。 ● 大学院学生を教育・指導できる能力を有すること。 <p>< 変更の範囲 : 機構が定める業務の範囲 ></p>
10.	待遇	<p>(1) 給与 能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。</p>

		<p>(2) 勤務時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤務は、原則として、専門業務型裁量労働制を適用する。 ・勤務時間は、始業午前9時30分～終業午後5時45分を基本とする。休憩時間は、1日の労働時間が6時間を超える場合は45分、8時間を超える場合は1時間とする。なお、裁量労働制適用者は、上記に関わらず、1日のみなし勤務時間を7時間45分とする。 ・業務の都合により所定労働時間外勤務を命じることがある。 <p>(3) 休日 完全週休2日制（日曜日、土曜日）、祝祭日、年末年始（12/29～1/3）、その他機構が必要と認めた場合に定める日等</p> <p>(4) 休暇 年次有給休暇、特別休暇（分べん、忌引、結婚、ワークライフバランス（WLB）等）、子の看護休暇、介護休業、育児休業等</p> <p>(5) 定年 65歳定年制</p> <p>(6) 保有・借上宿舎の貸与 業務の必要性、個別の事情及び空席状況により独身用または世帯用を用意（ただし、同一の宿舎に継続して入居できる期間は7年を限度とする）、又は機構の規定により住居手当を支給。</p> <p>(7) 社会保険 各種社会保険完備（健康保険、厚生年金保険等）</p>
11.	研究費	毎年度の予算状況に応じて決定される。（FY2025実績 教授80万円，准教授80万円，助教40万円）
12.	応募資格	博士号を有すること。
13.	提出書類	<p>(1) 履歴書</p> <p>(2) 研究歴およびその概要</p> <p>(3) 論文リスト（DOIを記載のこと）</p> <p>(4) 外部資金獲得実績（外部資金の種別、金額、研究代表/分担を明記すること）</p> <p>(5) 今後の研究計画（プロジェクトへの貢献と教育活動についての抱負を含む）</p> <p>(6) セクハラ・性暴力等を含む過去の刑事罰、行政処分及び懲戒処分等にかかる申告（様式任意、(1)への記載でも可。該当の有無及び該当有の場合はその内容）</p> <p>(7) 本人について意見を述べることができる方2名の氏名と所属，連絡先（電話番号，電子メールアドレス）</p>

		(8) 主要論文の別刷り 5 編以内（査読付き学会誌に掲載されたものに限る）
14.	提出方法	<p>【アップロード先】</p> <p>https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1770859087</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出書類はすべて PDF 形式で提出すること。 ・提出書類(2)～(6)は一つの PDF にまとめること。 ・郵送または持参での提出は、原則として受理できません。
15.	応募締切	<p>2026 年 4 月 16 日正午（日本時間） 必着</p> <p>※Web 入力および全ての必要書類提出についての締切です。</p>
16.	選考方法	<p>選考は、宇宙科学運営協議会※にて行います。まず書類選考を実施し、書類選考を通過した方に面接をお願いする予定です。ただし、変更となる場合があります。</p> <p>※https://www.isas.jaxa.jp/about/organization/committee.html</p>
17.	問い合わせ先	<p>宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系研究主幹 野中聡 教授 Email: nonaka.satoshi[at]jaxa.jp</p> <p>ただし、「14. 提出方法」に関しては下記へお問い合わせください。 科学推進部人事担当 E-mail: ISAS-JINJI[at]ml.jaxa.jp</p> <p>※メールアドレスの[at]は@に置き換えてください。</p>
18.	募集者名称	宇宙航空研究開発機構（JAXA）
19.	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・提供された個人情報については、採用選考以外の目的には利用いたしません。選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き、全ての個人情報について責任を持って破棄・消去いたします。 ・外為法に基づく安全保障輸出管理の適正な実施のため、特定類型に関する申告書の提出が必要です。 申告内容に応じ、適正な業務遂行のために必要な兼業範囲の調整等の対応をとることがあります。 ・その他、教育職採用ページ※に記載の事項もございますので、そちらもよくご確認のうえ、ご応募ください。 <p>※https://www.jaxa.jp/about/employ/educator_j.html</p>